

二〇一八(平成三十)年度 金沢学院大学 入学試験問題

一般入試Ⅰ期(二日目)

二〇一八年一月三十一日(水)実施

国語

I 注意事項

解答用紙に「国語」と記入・マークしてから解答してください。

問題は1ページから17ページまであります。

第3問、第4問、第5問は受験する学科・専攻によって解答する設問が異なりますので、注意してください。

問題は持ち帰ってもよいですが、コピーして配布・使用するのには法律で禁じられています。

II 解答上の注意

解答用紙は、マークシート用紙と記述用解答用紙の2種類があります。

マーク式の問題で、「解答番号は10」と表示のある問いに対して④と解答する場合は、下記の例のようにマークして

ください。記述式の問題には「解答は記述用解答用紙」と表示がありますので、記述用の解答用紙に記入してください。

(例)

解答番号	解 答 欄
10	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

第1問 次の文章を読んで、後の問い(問1〜7)に答えよ。

君たちは、

「夢を持ちなさい」

「夢のない人生には価値がない」

「夢を持たない人間は、誰にも愛されない」

「夢があつてこそ人は輝く」

てなことを信じているかもしれない。

というのも、昨今、ものわかりのよさげな大人は、誰もが①イクドウオンに、

「自分だけの夢に向かって努力しなさい」

といった調子のお話を子供に吹き込む決まりになっているからだ。

この「夢」を中心に捉えた教訓話は、ある時期から急に言われはじめたことで、私が子供だった頃は、さして人気のある②プロットではなかった。というよりも、私が子供だった50年前には、夢を持っている子供はむしろ少数派だった。事実、私は、自分が夢を持っていた記憶を思い出すことができない。

にもかかわらず、③夢なんかなくても、子供時代は楽しかった。当然だ。子供は「いま、ここ」にあるがままにある存在で、その時々の一瞬一瞬を、その場の場の感情のままに生きている。その、あるがままの子供たちは、「将来の展望」や「未来への希望」を④トクダンに必要としていない。彼らの生活は、「大人になるための準備」として運営されているのもなければ、「夢への助走」として立案されたものでもない。子供であることの楽しさは、元来、このところ(未来や過去と切り離されているところ)にある。

「夢」を持つことは、一見、前向きで素晴らしい取り組みであるように見える。しかしながら、注意深く⑤ケントウしてみると、「夢」は「未来のために現在を犠牲にする」要求を含んでいる。

ということは、「夢を持ちなさい」という一見⑥ステキに響くアドバイスは、その実、「今を楽しむ」という子供自身にとって最も大切な生き方を真っ向か

ら否定する命令（具体的には「将来のために今の楽しみを我慢しなさい」ということ）でもあるわけで、とすれば、悪質な「夢」に囚われた少年少女は、正確な未来のために、かけがえのない思春期を^⑧ダイナシ（ダイナシ）にしているのかもしれない。

自分の将来に「夢」を設定した人間は、その夢から逆算して、現在の生活を設計しなければならない。

と、その子供の「現在」は、将来のための準備期間、**a**「努力と忍耐の時間」に性格を変える。**b**、プロサッカーの選手になることを心に決めた14歳は、部活の練習だけでは足りないと考える。と、彼は、放課後の2時間を自主練習に当てる決意を固めなければならない。**c**、東京大学に合格する目標を立てた12歳は、一日に8時間の勉強時間を自分に課すかもしれない。

d、君の抱いている夢が、自分自身の内側から自然に湧き上がってきた夢であるのなら、現在の娯楽や休息を多少犠牲にしても、将来のために努力を傾ける価値がある。**e**、もし仮に君の抱いている「夢」が、「夢を持たねばならない」という義務感から無理矢理に設定したお仕着せの人生設計で

あるのだとしたら、ほかならぬ自分自身をがんじがらめにするそんな不自由な夢からは、早めに目を覚ました方がよい。

若い頃に自分で「夢」だと思っていたものが、大人になった時点から振り返ってみると、ただの「虚栄心」だったという例は珍しくない。自分で夢だと思っているそのことが、実は、現実を直視せずに済ますための事前弁解だったというケースもある。そうでなくても、親しく行き来しているメンバーが、同じデザインの靴下を欲しがるみたいにして揃えたがる「夢」は、^⑨死刑囚の目からギロチン台を隠しておくための絵屏風とそんなに変わらない機能を果たしている。つまり、「夢」は、何よりもまず、自分をだましたい人間が自分をだますために見る物語だということだ。

もうひとつ指摘しておきたいのは、「夢」という単語が、ほぼ必ず「職業」に結びつく概念として語られるようになったのは、この30年ほどに定着した、比較的新しい傾向だということだ。

昭和の中頃まで、子供たちが「夢」という言葉を使う時、その「夢」は、もつと他愛のない、バカバカしいものだった。

というよりも、「実現可能」だったりするものは、はなから「夢」とは呼ばれなかった。であるから、「看護師になりたい」とか「編集者になりたい」といった感じの、実現に向けてコツコツと努力しなければならないタイプの堅実な「夢」は、子供らしい生き生きとした「夢」とは見なされなかった。

それが、いつの頃からなのか、「夢」は、より現実的な「目標」じみたものに変質した。そして、現実的になるとともに、それは年頃の男女が、一人にひとつずつ必ず持っていなければならない必携のアイテムとして、万人に強要されるようになっていく。

なんだかつらい話だ。

本来なら、退屈な現実から逃避するためのヒーロー幻想であったり、叱られた小中学生が(モ)うたかたの慰安を求めて思い浮かべる絵空事であった「夢」という多分に無責任な妄想が、就職活動の面接における必須ワードになっていたり、中高生が考える職業選びの土台になっていたりする現状は、今年の秋に60歳になる私の目から見ると、あきらかにどうかしている。

21世紀にはいって十数年が経過した現在、「夢」は、子供たちが「将来就きたい職業」そのものを意味する極めて卑近な用語に着地している。なんという、夢のない話であることだろうか。

結局、この30年ほどの間に、われわれは、より年の若い子供たちに、

「」

という感じのプレッシャーを与える教育をどこしてきたわけだ。ということはつまり、少なくとも(オ)平成にはいって以来の社会の変化は、「夢」という言葉から夢が失われていく過程そのものだったということになる。

(小田嶋隆「13歳のハードワーク」、内田樹編『転換期を生きるきみたちへ―中高生に伝えておきたいせつなこと』による。)

問1 傍線部①～⑤に当たる漢字を含むものを、次の各群の①～⑤の中から、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は ～ 。

- ① イクドウオン
- ① ガイコウジレイで言ってみただけだ。 ② 従来のもとのドウコウイキョクの新製品。
- ③ コウメイセイダイな男。 ④ カイコウイチバンに言う。
- ⑤ セイコウウドクの日々。

② トクダン 2

① それがあいつのジョウトウシユダンだ。

② カゾクダンランのひととき。

③ ユウジユウフダンな性格。

④ シユノウカイダンが延期される。

⑤ ダンボウキグの売れ筋商品。

③ ケントウ 3

③ その発言はエツケンコウイだ。

② サイシヨクケンビの花嫁。

③ シンタイケンサで異常が見つかる。

④ ハイハンチケンによる士族の失業。

⑤ シツジツゴウケン_の気風。

④ ステキ 4

① テンテキチュウシヤで腕があざだらけだ。

② テキザイテキシヨの人材配置。

③ バツテキジンジが組織を変える。

④ コウテキネンキンの給付額。

⑤ 室内でもユダンタイテキナ紫外線。

⑤ ダイナシ 5

① タイフウイツカの青空。

② タイゼンジジャクとして騒がず。

③ タイゲンソウゴするだけの政治家。

④ タイシヨウズケイの描き方。

⑤ タイシンホキョウの工事。

問2 傍線部(ア)「プロット」、(エ)「うたかたの」の意味として最も適当なものを、それぞれの語群の①～⑤の中から一つずつ選べ。

解答番号はア \parallel 6、エ \parallel 7。

(ア)「プロット」

- ① 筋立て
- ② 結末
- ③ 描写
- ④ 人物設定
- ⑤ 世界観

(エ)「うたかたの」

- ① くだらない
- ② つまらない
- ③ はかない
- ④ おもしろい
- ⑤ 興味深い

問3 傍線部(イ)「夢なんかなくても、子供時代は楽しかった」とあるが、それはなぜか。理由として適当なものを、次の①～⑥の中から一つずつ選べ。

解答番号は 8、9 (順番は問わない)。

- ① 筆者が子供のころは、筆者と同じように、夢を持っていない子供のほうが多かったから。
- ② 筆者には、自分が夢を持っていたという子供のころの記憶がないから。
- ③ 筆者は子供のころ、あるがままに、一瞬一瞬をその場その場の感情のままに生きていたから。
- ④ 筆者の子供時代には、「将来の展望」や「未来への希望」がなかったから。
- ⑤ 筆者の子供時代は、「大人になるための準備」として運営されていなかったから。
- ⑥ 筆者の子供時代は、「夢への助走」として立案されていたから。

問4 空欄 a、e に入れる語として最も適当なものを、次の①～⑧の中から一つずつ選べ。

解答番号は a \parallel 10、b \parallel 11、c \parallel 12、d \parallel 13、e \parallel 14。

- ① なぜなら
- ② でも
- ③ すなわち
- ④ もし
- ⑤ たとえば
- ⑥ したがって
- ⑦ だから
- ⑧ あるいは

問5 傍線部(ウ)「死刑囚の目からギロチン台を隠しておくための絵屏風とそんなに変わらない機能」とはどのような機能か。その説明として最も適当

なものを次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は 15。

- ① 自分が強い虚栄心を持つていることを隠蔽しようとする機能。
- ② 現実を直視しないで済むよう、隠してごまかそうとする機能。
- ③ 見たいものを他から見られないように、事前弁解をする機能。
- ④ 集団が靴下を揃えるように、個性を周囲に埋もれさせる機能。
- ⑤ バカバカしい絵画を飾って、幻想を現実のように見せる機能。

問6 空欄 X に入れるのに最も適当な語句を、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は 16。

- ① 退屈な現実から逃避するための夢を持ちましょう
- ② 娯楽を犠牲にして夢実現のために努力しましょう
- ③ 実現可能な夢を早い段階で確定しておきましょう
- ④ 就職活動で、大きな夢を語るようにしましょう
- ⑤ 無責任な妄想にすぎない夢を、実現させましょう

問7 傍線部(オ)「平成にはいって以来の社会の変化は、「夢」という言葉から夢が失われていく過程そのものだった」とあるが、これは何が、どのような変化をしたということか。本文中の言葉を使って、60字以上70字以内で説明せよ(ただし、句読点を含む)。解答は 記述用解答用紙。

第2問 次の文章を読んで、後の問い(問1～7)に答えよ。

「俺」は、四十歳で自動車運転免許を取得するため、自動車学校に通っている。「俺」には須崎という友人がいる。琴美はその須崎の恋人である。「俺」と琴美もウマが合い、スマートフォンを介してメールや画像をやり取りしている。琴美は、癌がんを患っている。「俺」は、自動車学校で路上教習に出るための運転試験に挑んでいる。

三番手の、(注1)坂道発進に難渋していた女子の車は、四度目のトライでついに急坂を上りきり、すぐに下った。地形によってできたものでない、坂道発進のためだけに設けられた嘘の坂を。(注2)俺は握っていた拳を緩め息をついた。右折のウインカーを出すのは忘れなかったが、女子の落胆はありありと想像できる。意気消沈の体で車は元の駐車位置に寄って停車し、ミラーを畳んだ。

「お疲れさまでした、結果は事務所三階の第二会議室で一時間後に」教官が言いおいて立ち去ると、すぐに女子はがっくりとうなだれた。

「ダメでした……」

「いや、僕も(注3)S字の挙動がおかしかったから」

「うん、俺もどうかなー」大丈夫ですよと請け合うことは二人ともできない。年齢差のある男二人が揃って首を傾げ、自らの失敗を列挙する形で女子を励ました。

「でも、きっとダメですね」(注4)言い聞かせるように女子は健気に頷うなずきながら歩きます。

俺は二人について校舎に戻りつつ、立ち止まった。駅舎のような待合室に目をやった。S字と(注5)クランクの先の芝生の中に小屋は建っている。平日の、まだ午前中の小屋は無人の気配だ。用途は物置だと思っていたし、見た目はジオラマの鉄道模型の、線路脇のリアリティを増すための芝生や小屋のようにもみえていたが、小屋は実際に用いられていて、そこで我々は知らぬ者同士集められ、一緒に緊張した顔をみせあった。ついさっきのことだ。一度の仮免許試験はせいぜい二十分だから、三人でたった一時間程度の出来事だった。

それなのに、かつてひと夏を過ごした山荘をみるような郷愁を遠くの小屋に対して感じとる。偽物の横断歩道を渡って校舎に戻ろうとして、やめて、小屋へと引き返した。教官に咎とがめられたら忘れ物といえはいい。

なんだか、夢の中みたいだ。記憶のつぎはぎのように、坂道やS字や嘘の踏切が(注6)恣意的にぎゅっと詰め込まれた空間に、降りたことのない木造の駅舎。

緊張と、不釣り合いなそよ風。さつきは植えられているコスモスだけが目についたが、遠くにススキも自生している。コースを歩いて眺めるのは、そういうえぼこれが初めてのことだ。教官や職員に見咎められることもなく小屋までたどり着いた。扉にはすでに鍵がかかっていた。クラシクの前まで下がり、スマートフォンのカメラで小屋を写真に収め、琴美に送った。

「嘘の待合室だよ」と表題を、「仮免終わったところ」と本文を添えて。

琴美は友人の須崎の恋人だが、俺とウマがあう。本人を琴美と呼び捨てたことはない。ウマがあうといっても、盛り上がるわけではない。何度か呑んだだけだが琴美はだいたい無表情で、夜遅くまで須崎が酔っぱらうのを一人で眺めている。芸能人のゴシップや、ネットで誰それが炎上した話題のときだけ琴美の目は輝く。そんな琴美が俺の免許証取得の話題には妙に強く反応した（プリキュアの歌もわざわざプレゼントしてくれた）。まだ（本人の言を信じれば）三十代ではないから、彼女が知っている教習所のムードは売り手市場から買い手市場に移行する頃だろうか。

ある夜、学科を終え、教室を出て人気のない階段を降りていたら（エ）「ただいまからロビーでハロウィンパーティーを行います」と館内アナウンスが流れたという話には琴美は爆笑し、それから教習所に通う度、些細な観察を報告させられるようになった。棚に置かれた漫画の詳細や、受付嬢のレベルなど。高額な「VIPコース」を受講する人のための専用のVIPルームがあるとメールしたら返信で即、潜入を命じられた。ロビーで飲めるのはお茶だけだが、VIPルームにあるのは漫画喫茶にあるのと同じドリンクベンダーでコーラやカルピスソーダが飲み放題だとか、テーブルには籠が置かれ、飴ではなくビスコとかハッピーターンが食べられるとか、送る度に「どんなVIPですか」と返信がきた。

琴美からの返信の表題は常に「アハハ」がついている。彼女に限らず、年下からくるメールは表題がない。俺は中年だから、今でもメールに表題をつけてしまふ。いつものように変な笑い顔の顔文字がつかってくるかと思ったら違った。

「そのままそこで待っていたら嘘のクラクションが鳴って、嘘のお迎えがくるかもよ」（オ）妙に詩的な返信だった。顔をあげてコースを眺める。雀が一羽アスファルトをてんと歩き、秋空に飛び立った。

結局、若者二人も揃って仮免許試験に合格した。我々は喜びのあまりハイタッチさえ交わした。大勢が通う教習所で、おそらくもう二度と出会うことはないだろう、だが同じ車内で「苦楽を分かち合った」同期の学友だ。

路上教習開始の説明を受けて教習所を出ながら、学生時代に若返ったような錯覚を抱いていた。

「そんでもってシリアスもリラックス、にっこり白い歯みせてー」試験が終わった のせいかな、若者と喜びを共有したせいかな、プリキュアの歌を（カ）軽薄に口ずさみながら教習所を出て、ファミリーレストランで陽の高い時間からビールを頼んだ。

「路上からはVIPコースに変更するわ」ジョッキを半分ほど飲み干し、仮免合格のメールを送信した。すぐに「Re:」の返信がきた。「おめでとう！ ビスコ食べ放題だ！」琴美のテキストには珍しく感嘆符が二つもつけられていた。琴美の手術は来週だ。

(長嶋有『愛のようだ』による。)

(注) 1 坂道発進——登り勾配で停車している車両を発進させる際に用いられることがある運転技術。

2 S字——自動車教習所に設けられているS字型にカーブしている道路。この道路をはみ出さないで運転できなければならない。

3 クランク——直角の狭いカーブが二つ交互に繋がっている道路形状のこと。はみ出さず壁にもぶつからずに運転できなければならない。

問1 傍線部(ア)「俺は握っていた拳を緩め息をついた」とあるが、これは「俺」のどのような心理を表現したのか。次の①～⑤のうちから最も適当なものを選択せよ。解答番号は 17。

- ① 坂道発進がうまくいかない女子に言葉にならない苛立ちを感じていたが、成功して怒りが和らいだ。
- ② 坂道発進がうまくいかない女子を見ているしかない自分にもどかしさを感じていたが、成功して喜びにつつまれた。
- ③ 嘘の道での坂道発進で苦労させられている女子を見て教習所に対する憤りを感じたが、成功してとりあえず気持ちが鎮まった。
- ④ 嘘の道での坂道発進に真剣に取り組む女子を自分に重ねて虚しさにとらわれていたが、成功したので少しだけ前向きな気持ちになった。
- ⑤ 坂道発進がうまくいかない女子のあせりを自分のことのように感じて緊張していたが、成功してほっとした。

問2 傍線部(イ)「言い聞かせるように女子は健気に頷きながら歩きだす」とあるが、ここから「俺」が読み取った女子の心理について、次の①～⑤のうちから、最も適当なものを選択せよ。解答番号は 18。

- ① 励ましてくれる二人には感謝したいが、不合格という結果になったときの気まずさを心配して、自分のことよりも二人に気を遣っている。
- ② 内心では合格の可能性が高いと思っているが、露骨に嬉しそうにしていると二人の反感を買うので、懸命に落ち込んだふりをしている。
- ③ 終わった直後は深く落ち込んだが、二人の自分を気遣ってくれる言葉に励まされて前向きな気持ちになり、だめで元々と開き直っている。
- ④ 淡い希望にすがりたい気持ちはあるが、不合格という予想される現実に向き合うために、自分の失敗を納得しようとしている。
- ⑤ 二人の同情と励ましをうつつとうしく感じており、これ以上、話しかけてほしくないという意志をさりげなく示そうとしている。

問3 傍線部(ウ)「恣意的に」、傍線部(カ)「軽薄に」の本文中の意味として最も適当なものを、それぞれ次の①～⑤のうちから一つずつ選べ。

解答番号はウⅡ 19、カⅡ 20。

(ウ) 恣意的に

- ① 勝手気ままな感じに
- ② 意味ありげな感じに
- ③ 投げやりな感じに
- ④ 現実離れした感じに
- ⑤ 思い通りの完璧な感じに

(カ) 軽薄に

- ① 明るく陽気な気分で
- ② 浮ついた感じで
- ③ うろ覚えのまま
- ④ 場違いな感じで
- ⑤ わざとらしい感じで

問4 傍線部(エ)「ただいまからロビーでハロウィンパーティを行います」と館内アナウンスが流れたという話に琴美は爆笑し」とあるが、琴美が爆笑した理由として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 21。

① ハロウィンパーティという都会で流行している派手なイベントは、地道に運転技術を教える場所である教習所のイメージとはまったく合わないものであったから。

② ハロウィンパーティという若者の間で流行しているイベントを教習所で行ったときの、年配の生徒の困惑した様子が目に浮かぶように想像できたから。

③ ハロウィンパーティでは仮装することが流行しているが、教習所の教員や職員が仮装した姿は、どう考えても似合わない珍妙なものにしかならないと思ったから。

④ ハロウィンパーティを突然行うという企画で、生徒たちが盛り上がるだろうと考えている教習所の目論見が、あまりにも生徒の気持ちとずれた空回りの発想に思えたから。

⑤ ハロウィンパーティまで開いて生徒を楽しませようという現在の教習所は、生徒に不愛想だった琴美の時代の教習所とは、あまりにも落差が激しかったから。

問5 傍線部(オ)「妙に詩的な返信」とあるが、この意味の説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① 心の中に秘めていて誰にも言えなかった思いを告白するような内容の返信。
- ② 教習所の醸し出す不気味な雰囲気を比喻表現での確にとらえた内容の返信。
- ③ 中年の男が常に感じている倦怠感や疲労感を正確に表現した内容の返信。
- ④ 非日常の虚構の世界と戯れるようなユーモラスな内容の返信。
- ⑤ 本音と建前が違っている大人の社会を鋭く風刺した内容の返信。

問6 空欄 に当てはまる語として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① 虚脱感
- ② 解放感
- ③ 安心感
- ④ 現実感
- ⑤ 信頼感

問7 本文中から読み取ることができる「俺」の琴美に対する思いを、40字以上50字以内で書け(ただし、句読点を含む)。解答は 。

次の設問から、受験する学科・専攻によって解答する設問が異なりますので、注意してください。

○教育学科・文学科(英米文学専攻・心理学専攻)・健康栄養学科・スポーツ健康学科・経営情報学科・芸術学科の受験者
↓ 第3問、第4問へ(12ページ～15ページ)

○文学科(日本文学専攻・歴史学専攻)の受験者

↓ 第5問【古文】へ(16ページ～17ページ)

第3問 次のA～Eのことわざ・慣用句について、空欄 に当てはまる漢字一字を【語群】①～⑩の中から選べ。意味については、【意味】①～

⑥の中から選べ。解答番号は 24 ～ 33。

A	「 <input type="text"/> 24 を並べる」	意味	<input type="text"/> 25
B	「窮鼠 ^{きゅううそ} <input type="text"/> 26 を噛む」	意味	<input type="text"/> 27
C	「 <input type="text"/> 28 が回らない」	意味	<input type="text"/> 29
D	「前門の虎、後門の <input type="text"/> 30」	意味	<input type="text"/> 31
E	「 <input type="text"/> 32 心あれば水心」	意味	<input type="text"/> 33

【語群】

- ① 魚 ② 狼 ③ 犬 ④ 頭 ⑤ 肩 ⑥ 兎 ⑦ 猫 ⑧ 馬 ⑨ 足 ⑩ 首

【意味】

- ① 一つの災難を逃れたと思ったら、すぐまた他の災難にあうこと。
② 追い詰められ必死になれば、弱者が強者に反撃することもある、ということ。
③ 相手が好意を示すならば、こちらも好意を示そう、ということ。
④ 実力や地位が対等であるということ。
⑤ 身近すぎるものにはかえって気がつかないこと。
⑥ お金のやりくりがつかないこと。

第4問 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

相撲ことばが大好きである。

やぐらだいこ、大銀杏、化粧まわし、徳俵、明荷、甚句……、みなすてきなことばだ。

取り組みにかかわることば——四股を踏む、仕切る、ぶちかます、相四つ、喧嘩四つ、がつぶり、おっつけ、いなす、がぶり寄り……などもみない。

A

相撲ことばはなぜいいのか。

理由は簡単で、昔からあることばだからである。みな、耳で聞いてわかる生き生きしたことばである。字を見ないとわからないような死んだことばはない。練られて残ったことばだから味わいが深い。

明治以後にできた相撲ことばもあるが、すくなくともその初期のものは耳ことばである。アンコ、ソップ、電車道など。

アンコは肥満型力士、魚のアンコウに由来すること。ソップはやせ型。スープのことだそうである。電車道は一直線に押すこと。

「八百長」も明治以後の語らしい。八百長は実在人物で、「文久年間の八百屋の長兵衛」説と、「明治初めの八百屋の長造」説とがあるが、まあ大差はない。この人は碁が強かったが、伊勢海親方と打つ時はわざと負けて御機嫌をとった。それでわざと負けることを「八百長をやる」と言うようになった。最近「無気力相撲」と言うが、「八百長」のほうがはるかにいい。ことばとして上等である。

B

勝敗微妙で物言いがつくと、審判役の親方たちが土俵にあがって行司をまじえ話し合いをする。終わって席にもどり、代表がマイクを持って、「ただいまのキョーギについて申し上げます」と見物に報告する。

あれをわたしは初めのうち、「ただいまの競技」かと思っていたが、「ただいまの協議」であつたらしい。こういうのが、字を見ないとわからない死んだことばである。なんとかもうすこしわかりやすい言いかたはないものかと思う。

相撲の決り手は俗に「四十八手」というが、実際はもっと多い。現在相撲協会公認の手だけで七十手あるよしである。決り手のなかには、なぜそう言うのかわからないのが時々ある。

初代の若乃花が得意とした「仏壇返し」というのがあった。

C

『日本国語大辞典』には、「仏壇をひっくり返すように相手をあおむけに倒す技」と説明してあるが、仏壇をひっくり返すというのがわからないとえだ。それなら「ちやぶ台返し」とでも言ったほうがずっとわかりやすい。

ところが最近本を読んでいたら、仏壇返しの元祖は明治末から大正初めの横綱太刀山で、「菊人形の仏壇返しの仕掛けのように仰向けに派手に叩きつけた」とあった。菊人形の仏壇返しというのは見たことがないが、多分一瞬に百八十度ひっくりかえるしかけがあったのであろうと納得した。

「さばおり」（鯖折り）というのがある。

D

さばおりなんぞをくらうのは体の薄い腰の細いやつかというのと、そんなことはない。小錦がこれでやられた。あの太い小錦をさばおりでやっつけた剛の者は誰かというのと、立浪親方と衝突して廃業したあの双羽黒（北尾）である。小錦はこれで腰をやられて翌日から休場し、それ以来弱くなったという説がある。

（中略）

以上、小生年来の疑問であります。

実は小生、相撲に関することばのなかで一番好きなのが、部屋の名、年寄の名なのであるが、そこまで話がとどかなかった。またこんど、ということに――

* 「あとからひとこと」

相手を裏返しに土俵へ叩きつける「仏壇返し」。これは歌舞伎から来ているのだと読者の方から教えていただいた。お手紙によれば、

E

とのこと。

〈江戸文化の花、歌舞伎もちつとはごらんください〉

とありました。はいはい、まことに汗顔のいたりでございます。

相撲の手については、ベースボール・マガジン社の門脇利明さんが文献コピーをたくさんお送りくださった。江戸時代以来の相撲の手の数は何百もあって、なかにはなぜそう呼ぶのかわからない手もすくなくない。「鯖折り」なんぞは、相撲協会で決り手の整理をした秀の山勝一さんでもわからぬのだそうです。

(高島俊男『お言葉ですが…』による。一部改変。)

問い 空欄

A

 \sim

E

 の中には、次の① \sim ⑤のいずれかの文章が入る。最も適当なものを一つずつ選べ。

解答番号は A \parallel

34

、B \parallel

35

、C \parallel

36

、D \parallel

37

、E \parallel

38

。

① 南北の「東海道四谷怪談」中、「蛇山庵室の場」に於てお岩の怨念で仏壇の前に坐ましたままの姿勢で体が回転して仏壇の中に吸い込まれてしまうという舞台の仕掛けで有名なものです。

② 相撲協会の決り手では「呼びもどし」だが、相手が完全に裏返しになって腹を上にした蛙のように土俵にたたきつけられるのを特に「仏壇返し」と言うようである。

③ それに決り手——すくい投げ、小手投げ、あびせ倒し、肩すかし、わたしこみ、二枚げり、うつちやり……、どれも言葉が生きている。

④ 両手を相手の腰に深くまわして力任せに引きつけ、相手の体をへし折って、ヘナヘナと膝をつかせるわざである。

⑤ その点戦後出来のことは、たとえば殊勲賞、敢闘賞、技能賞なんてのはまことにつまらない。同じことでも昔の人だったらもっと血のかよった言い方を考えたことだろう。

第5問【古文】 次の文章を読んで、後の問い（問1～5）に答えよ。

成源僧正は連歌を好む人にて、その房中の者ども皆（a）たしなみければ、（c）中間法師常在といふあやしのものまで、かたのごとく（b）つらねけり。法勝寺の花のさかりに、件の常在法師、（注）いと桜のもとにたたずみて侍りけるを、わかき女房四五人花見て侍りけるが、この法師を（e）見て「あれも人なみに花見んとてあるにや」なむどあざけりつつ、「や御房、この花一枝折りてたびてんや」と（d）いへりければ、この法師、うち案じて、

（ウ）山がつはをりこそ知らね桜花さけば春かと思ふばかりぞ

といひかけたりければ、わらひつる女房どもいらふることなし。（エ）あきれてぞ立てりける。

『古今著聞集』二二八段

（注）いと桜——糸桜。しだれ桜の一種。

問1 二重傍線部（a）～（c）の主語を次の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選べ。解答番号は a 〓 24、b 〓 25、c 〓 26。

- ① 成源僧正 ② 中間法師常在 ③ 房中の者ども ④ わかき女房四五人 ⑤ 作者

問2 次の語群は本文中にある語を抜き出したものである。この中に傍線部（ア）「中間法師常在」を示している語はいくつあるか。その数を①～⑧の中から一つ選べ。解答番号は 27。

【語群】	成源僧正	房中の者ども	あやしのもの	あれ	御房	わかき女房	山がつ
①	1つ	②	2つ	③	3つ	④	4つ
④	5つ	⑥	6つ	⑦	7つ	⑧	この中にはない

問3 次の語群は本文中にある語を抜き出したものである。この中に、傍線部(イ)「いへりければ」の「り」と同じ意味用法の「り」はいくつあるか。その数を①～⑥の中から一つ選べ。解答番号は 28。

【語群】

つらねけり	花のさかりに	侍りけるを	あざけりつつ
をりこそ知らね	思ふばかりぞ	いひかけたりければ	立てりける
			折りて

- ⑥ 1つ ② 2つ ③ 3つ ④ 4つ ⑤ 5つ
- ⑤ 6つ ⑦ 7つ ⑧ 8つ ⑨ 9つ ⑩ この中にはない

問4 傍線部(ウ)の歌の意味として適切なものを、次の①～⑥の中から一つ選べ。解答番号は 29、30 (順番は問わない)。

- ① 私のような武骨な山男は、桜の花が咲いても何も感じません。桜の花が咲けば、また春が来てしまったと思うだけです。
- ② 私のような老いぼれの山男には、季節の変化が体に辛くて耐えられません。桜の花が咲けば、また春が来てしまったと思うだけです。
- ③ 私のような身分の低い山男には、季節の変化を愛でる心はありません。桜の花が咲けば、春が来たなあと思うだけです。
- ④ 私のような下等な山男は、桜の枝を折るのに適した時期を知りません。桜の花が咲けば、春が来たなあと思うだけです。
- ⑤ 私のような鈍くさい山男は、季節の変化を感じることはできません。桜の花が咲けば、また春が来てしまったと思うだけです。
- ⑥ 私のような卑しい山男は、桜の枝の折り方など知りません。桜の花が咲けば、春が来たなあと思うだけです。

問5 傍線部(エ)「あきれてぞ立てりける」とあるが、なぜ女房たちは「あきれ」たのか。理由として最も適当なものを次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は 31。

- ① 常在が桜の枝を折るかわりに、歌でごまかそうとしたから。
- ② 常在の歌があまりにも下手で、意味がわからなかったから。
- ③ 常在の歌が難解すぎて、女房たちに理解できなかったから。
- ④ 常在が見事な手さばきで、桜の枝を瞬時に切り取ったから。
- ⑤ 常在が見事な歌で女房たちの意地の悪い依頼を断ったから。